

平成 30 年度

事業計画書並びに  
収支予算書

公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団

# 公益目的事業1

## 駿府博物館の展覧会事業及び芸術文化の普及事業

### A. 展覧会事業

	区分	展覧会名	会期・休館日	入館料	名義(予定)
1	特別展	金澤翔子書作展 『感謝』	前期:6月24日(日)～ 7月29日(日) 後期:7月31日(火)～ 9月2日(日)61日間 (休館日一月曜日。7月 16日は開館し翌日休 館)	高校生以上 800円(中学 生以下と障害 者手帳提示 の方とその付 添1名は無 料)	共催:静岡新聞社・静 岡放送 後援:静岡県教育委 員会、静岡市教育委 員会
2	企画展	大谷青嵐氏コレクション展 「中国文房至宝展」	10月20日(土)～12 月16日(日)50日間 (休館日一月曜日)	高校生以上 500円(中学 生以下と障害 者手帳提示 の方とその 付添1名は 無料)	後援:静岡新聞社・ 静岡放送
3	企画展	静岡の版画—それぞれの 「今」VOL.1	平成31年1月19日 (土)～3月10日(日) 44日間 (休館日一月曜日。2月 11日は開館し翌日休 館)	高校生以上 500円(中学 生以下と障害 者手帳提示 の方とその付 添1名は無 料)	後援:静岡新聞社・静 岡放送、静岡県教育 委員会、静岡市教育 委員会
4	その他	第42回 蘇峰会静岡県書道展	3月13日(水)～3月 24日(日)[11日間] 前期:3/13～17 後期:3/19～25 (休館日—3/18展示替 え)	無料	共催:蘇峰会、静岡新 聞社・静岡放送 後援:静岡県、静岡 県教育委員会、静岡 市、静岡市教育委員 会、静岡県書道連盟

## B. 芸術文化の普及事業

### ①講演会、ワークショップ、デモンストレーション、ギャラリートーク

1. 作家本人による揮毫会 2回開催予定（内1回は講演会を行う）
2. 外部専門家による特別ギャラリートーク 2回開催予定
3. 外部専門家による特別ギャラリートーク 2回開催予定

※上記 1～3 は、「A. 展覧会事業」の番号に対応。

### ②広報その他(展覧会事業及び芸術文化の普及事業に関連した印刷物の作成)

展覧会目録の発行

1. 7,000部予定（無料配布）
2. 500部予定（無料配布）
3. 500部予定（無料配布）

※上記 1～3 は、「A. 展覧会事業」の番号に対応。

### ③短期歴史講座

第15回駿府博物館短期歴史講座

静岡県の近現代史研究シリーズ

第6弾「静岡の昭和史～“戦後”から“もう戦後ではない”～」(仮)

【主催】駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）

【協力】静岡県近代史研究会（予定）

■会場 静岡 新聞放送会館4階会議室（静岡市駿河区登呂3-1-1）

■受講料 一般：5,000円 大学生・大学院生：3,000円  
高校生：2,000円 全4回分。税込。資料代含む。

■募集人数 50名

■企画内容 静岡県の近現代史研究シリーズ第6弾。第2次大戦終了後からの1956年（昭和31年）7月に発表された経済白書（副題日本経済の成長と近代化）の結語には、太平洋戦争後の日本の復興が終了したことを指して《もはや「戦後」ではない》と記述され流行語にもなった頃の静岡県の姿を政治、経済、産業、教育、文化などの視点から4回にわたって講義する予定。

■開催日時 2019年1月～3月の間で4回設定。

## 公益目的事業2

### 社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

#### A. 社会福祉事業への支援

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施する。

県民の皆様から寄せられた寄付金で福祉活動の支援として寄贈する。寄贈先と寄贈品は県内から公募し有識者による選考委員会で審査の上決定する。

1. 募金告知 年間を通して財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオ等で広く呼びかける。
2. 募金受付 年間を通して財団、静岡新聞・静岡放送東部総局、浜松総局、県内各支局で受け付ける。
3. 支援対象 県内で活動している社会福祉団体や NPO 法人、ボランティア団体等で以下の条件を満たすもの。但し、反社会組織が母体の団体は対象外とする。

##### 【条件】

- a. 活動や事業内容が福祉に関するものである事
- b. 活動期間が1年以上継続されている事
- c. 過去に愛の都市訪問で、寄贈を受けていない、または受けてから5年以上経過している事

4. 支援内容 支援対象団体が希望する物品（車両・資機材）を贈呈する。

##### 【車両】

- a. 高齢者や障がい者の日常生活、社会に参加するための送迎サービス、給食サービス、家事援助などの事業に要する車両
- b. 障がいや年齢を超えた交流や相互理解を図るための事業に要する車両
  - ※ 車両取得にかかる税金、諸費用、オプション装備は、申請施設・団体が負担。
  - ※ バスや中古車は除く
  - ※ 一支援についての上限は300万円（税込）

##### 【資機材】

- a. 高齢者や障がい者の就労・生活支援など社会参加を促進するための資機材
- b. ボランティア活動や福祉活動を推進していく上で必要とする資機材
  - ※ 一申請についての上限は50万円（税込）
  - ※ 極めて汎用性が高いもの（一般事務用のパソコンやテレビ、ビデオ、カメラなどは対象外とする）。

5. 支援先募集 7月、財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオを通じて県内から広く公募する。

6. 説明会 支援を希望する団体・関係者に向けて、趣旨や申請対象品・申請書の記入方法についての説明会を開催する。

8月(予定)、中部地区＝静岡新聞社・静岡放送本社、東部地区＝静岡新聞社・静岡放送東部総局、西部地区＝静岡新聞社・静岡放送浜松総局、上記説明会にどうしても来られなかった場合は事務局内にて個別説明を行う。

7. 応募方法 規定の応募用紙に必要事項を記入して、財団事務局へ郵送する。

8. 応募締切 9月下旬（予定）

9. 選 考 11月に学識経験者等で構成する選考委員会で決定する。
10. 通 達 応募者すべてに内定・落選の通知を送付する。
11. 発 表 12月下旬（予定）に財団w e bサイトと静岡新聞紙上で発表する。
12. 寄 贈 式 平成31年3月（予定）

## B. 災害救援活動への助成支援

国内外の大規模災害に対して県内から義援金を受け付け、日本赤十字社を通じて被災地への支援活動を実施する。

1. 実施の判断
  - a. 日本赤十字社静岡支部に義援金受付窓口を開設
  - b. 災害規模を勘案する
2. 実施の決定 財団理事に確認
3. 告 知 財団w e bサイト、静岡新聞紙上、静岡放送のテレビ・ラジオ等を通じて県内から義援金を呼びかける。
3. 支援方法 義援金を取りまとめ日本赤十字社静岡県支部に全額寄付する。

## 公益目的事業 3

### 地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

表彰制度「ふるさと貢献賞」を実施する。  
地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する。

1. 目 的 地域生活の模範となる行為を長年にわたり率先して続けている人々の事績を称えるにより、明るく住みよい社会づくりに資することを目的とする。
2. 表彰対象 長年にわたり他の模範として推奨に値する献身的な活動を続けている個人・団体・企業  
【活動例】
  - 施設慰問、介護支援などの福祉活動
  - 公共施設・道路などの美化、清掃、自然保護などの環境保全活動
  - 交通安全、犯罪防止、児童生徒への校外教育・指導などの地域貢献活動
  - 地域社会や公共施設に著しく功績があると認められる活動
  - 国際的な交流による地域活性活動
  - 障がい者の自立支援や自己実現、文化芸術活動などを支える活動

- 障がい者と健常者が特別な区別なく社会生活や企業活動を共にする活動

3. 募集対象 活動地域が県内であること  
居住地・職業・性別は問わない。  
※以下に該当する場合は応募できない。
  - a. 当該行為が名誉・金銭・経済的利益を伴うものである場合
  - b. 当該行為が個人または団体の売名・宣伝等を目的とするものである場合
  - c. 過去5年以内に本賞を受けている場合
4. 募集告知 6月下旬から7月上旬に財団webサイトや静岡新聞紙上等を通じて県民に呼びかけを行う。また関係機関への通達を行う。
5. 応募方法 推薦方式とする。推薦人が規定の推薦書に必要事項を記入して、財団事務局へ郵送する。学校、教育委員会、自治会、子供会の場合は自薦も可。
6. 応募締切 9月下旬（予定）
7. 選考 11月に学識経験者で構成する選考委員会で審査の上決定する
8. 通達 推薦者すべてに内定・落選の通知を送付する。
9. 発表 平成31年2月（予定）に財団webサイトと静岡新聞紙上で発表する。
10. 表彰 平成31年2月（予定）に表彰式を行う。  
賞状、楯、記念品を授与する。

## 収益事業

### A. 図録などの販売

展覧会事業に於いて、展覧会図録、書籍、グッズ等の販売を行う。

### B. その他

希望に応じて所蔵品の貸与、図版の印刷物への提供等を行う。